

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーに
輝きを

Vol.47 第2333回例会

2014.11.20

今年度会長テーマ

みんなで 熱く語ろう ロータリーを!!

■司会：小町会員



■点鐘：赤木会長

■合唱：
ロータリーソング
「それでこそロータリー」◆ソングリーダー：
北久保会員

■会長報告

赤木会長



こんにちは。地区のゴルフ決勝大会に8名が参加しているので、少し寂しい例会ですが、選手に負けないよう元気に行きましょう。

昨日、人口減少時代における多摩地域の発展可能性と題する講演を開いてきました。その中で多摩地区では、採用意欲がある地元企業と、就職活動をする学生との出会いの機会があまりにも少な

く、地域の大学卒業生のうち、多摩地区に就職する学生は15%にも満たないそうです。2002年に発足した、東京多摩地区の企業・自治体・各種団体で作る公益社団法人「学術・文化・産業ネットワーク多摩」は、多摩地区にある国公立大学30校、行政9市、企業等30の計69機関で構成する産学官の地域連携組織であります。

この組織は2013年度に、産学官合同スカラシップである、多摩未来奨学金制度を創立しました。これは多摩地域活性化プロジェクトの参加を条件に、多摩地区の企業から募った基金を元手として、加盟大学各1人に返済不要の奨学金30万を給付する制度であります。

活性化プロジェクトでは、奨学生は3つのテーマから1つを選択し、加盟大学の若手教員と、地元企業の中堅幹部の指導を受けながら、4月から1年間、調査・研究を行い、企業や地域へ提言をします。

テーマは、

- ①健康・福祉（高齢者支援・医療・介護・食）
- ②教育・文化（子育て支援・学生支援）
- ③環境・産業（省エネ・新エネ・産業機械・もの作り技術）

であります。

さらに、地元企業経営者との交流会やインターンシップなどの機会を積極的に設け、経済的な支援と地域に貢献できる人材を育成する、人材の原石である学生が多摩地域を中心に首都圏から全国へ、さらに世界に羽ばたく人材育成を目指しているそうです。

これからの地域は、地域が持つ資源をより活性化させるチャンスを、企業や行政が大学と一緒に創り出す時代。地域作りは人作りであると言うことです。

これは、ロータリーの会員増強は東村山市の発展、これも重要な事かと考えさせられました。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／飯田 能士

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

■ 幹事報告

相羽次年度会長



■ ガバナー事務所：

- ・ロータリーデーの件について
クラブでの「ロータリーデー開催実績・開催計画」の報告
締切：11月25日(火)
なお期限後も随時連絡を受け付けます。
- ・地区大会人頭分担当金のお願いについて
9,000×12/1現在の会員数
締切：12月31日
- ・「第7回国際ロータリー全国RYLA研究会」開催の案内の受理
2015年3月22日(日) 10:00～
於 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際会議場
(* 関心のある方は事務局までお声掛け下さい)

■ 国際ロータリー日本事務局：

「クラブ請求書」導入対策：MyRotaryによる「クラブ会員情報」の入力方法についての(Web)ウェビナー開催について
2014年11月19日(木) 10:00～11:00

■ 回覧：

- ・ハイライトよねやま
- ・青少年奉仕委員会
- ・こころの東京革命

■ 出席報告

野村(裕)会員



在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
27	23	0	3	88.46

- 前々回メイクアップ修正後前々会欠席：3名
- 前々回出席率メイクアップ修正後：88.46%
- 前々会メイクアップ者：

■ ニコニコBOX

金子会員



- ◆ 稲川様：先週の卓話ではお世話になりました。
- ◆ 赤木会長・相羽副会長：
地区ゴルフ決勝大会の参加者が多く、ちょっと寂しい例会ですが野崎プログラム委員長、卓話よろしくお祈いします。北久保会員、昨日の卓話ご苦労様でした。
- ◆ 小町会員：先週は風邪で休み事業等の報告を野村会員にして頂き、ご協力ありがとうございました。写真ありがとうございました。
- ◆ 北久保会員：
昨日、福生RCで卓話をしました。機会を与えて頂いたことに感謝です。
- ◆ 隅屋会員：北久保さん、産業祭の写真ありがとう。
- ◆ 野村(裕)会員：
北久保さん、産業祭の写真ありがとう。

本日のニコニコ合計： 15,000円
累 計： 757,000円

■ 委員長報告

- 當麻国際奉仕委員：
(山本委員長代理)



皆さんこんにちは、本日山本委員長が武蔵村山RCに国際奉仕委員長会議へ出席のため代理でお話させていただきます。今年度の国際大会既にお話させて頂いていますが今回は武蔵村山RCが主となり武蔵野分区と合同3分区で行います。

今回は、JTBではありません。
来年の6月8日～11日でビジネスの金額は、131万+消費税です。
宜しくお祈い致します。

■戸澤クラブ奉仕
委員会委員：



11月6日に2580地区のクラブ奉仕6分區で皆様の意見をお伺いします。

12月15日に委員会が開かれる予定です。

私と相羽委員で出席してきました。料理は、10000円で素晴らしかったです。内容は、会員増強・サンパウロへの参加についてお話ししました。

クラブ奉仕委員会は、オーロラビジョンで行います。後で回覧をしますのです是非目を通して下さい。

今年度2580地区の会員は、3025名で+47名です。他クラブは会員が増強しています。

■小町社会奉仕
委員長：



ご報告です。

1つ目は、先週野村委員から産業祭りの報告させて頂き会報に北久保会員から写真を掲載させて頂きました。

大勢のご参加有難うございました。来週の理事会へご報告させて頂きます。

2つ目は、東大和RCが劇団を作りお披露目があります。来週の11月25日(火)富士幼稚園の体育館で30分行います。多くの皆様是非見に来てください。

■相羽クラブ奉仕
委員長：
(クラブ管理代理)



12月13日(土)クリスマス例会のご案内です。

今回のクリスマス企画は、爆笑マジック・黒人歌手によるアカペラ・日本一の姉妹によるハンドベル奏者アンダンテさんが来ます。

特にお子様や女性の方に喜んで頂けると思いますので是非皆様家族の方をお誘いの上ご参加宜しくお願ひ致します。

■卓話

■卓話者：野崎パスト会長



7月のモンゴル訪問について

(1)米山奨学会は1952年設立。2012年公益社団化
この間、2014年度までに18104名、
2014年度奨学生724

1983年台湾、89年韓国、2012年韓国、13年ネパール
2014年3月モンゴルと卒業生の学友会が設立される。
いうまでもなく目的母国との架け橋となり国際社会で活躍。

特色世話クラブカウンセラー制度

■今回のモンゴル訪問目的

今年の地区大会にも出席指、入会歴の浅いロータリアンを対象にしたセミナーで卓活したジャンチブガルバトさんの招きでロータリー米山記念奨学会板橋理事長、岩鍋事務局長、服部委員長、島村・野崎の5名で参加。

板橋理事長9月退化

(足利)(7年間)小沢一彦理事長

(2)モンゴルについて

海に接してない内陸国 人口280万人

(鉄道・空港)

首都ウランバートルに第2空港建設中。

中国天津との鉄道増強、貨物の多くはコンテナで天津道へ。現在の日本政府との関係強化。

①気候6時 18度 9月まで明るい

中国は石炭を初め天然資源を積極的に開発輸→岩塩、カシミヤ、革製品(鉱物資源豊、レアメタル)

宗教はチベット仏教、ダライラマも数回モンゴルを訪問しているが現在は入国を認めていない。(中国に配慮)

日本との関係では戦0がなく植民地支配をしなかったので良好。(大相撲力士)

ソ連から拘留者3000人以上が移送され2000人近く亡くなり共同墓地が作られ数年前に慰霊を行った。町の中の文字はロシア文字がほとんどで公用文字もロシア文字。

外国語を学ぶ学生はロシア、中国、日本、韓国で

中国日本が増えている。
通過はトウグリウ100円で1400トウグリウ。

(3)新モンゴル高校について

ジャンチブは理事長で1994年来日。(本人と家族4人)
山形大学教育学部大学修士、東北大学博士課程と
進み人の輪を広げた。

明新聞配達、夕方は梱包作業、スナックを始め学
業のかたわらで大変苦労された。

山形東ロータリークラブで1997年～1999年生活
をし1999年から東北大学進学。2000年に新モンゴル
高校開校。

財源は(柱一本の会)を支援者が立ち上げ1人1万×3
年間、又は出資者を募り1人30、大口寄附も東日本
ハウス中村会長、ドンキホーテの安田会長等から
寄附を受ける。

卒業生は1800名を超え過去300程送り出し来年も開
き日本語をしっかりと勉強していることに感動

来年例年通り4月に入学前の合宿を行い効率よく学
習できるように日本の風俗・習慣、授業の注意点
等、留学生が指導する。

この学生たちを支援するのはマブチ財団、安田財
団(ドンキホーテ)、東日本ハウス、ロータリー米山
奨学会。

卒業生はモンゴル官庁教育関係ビジネスと多方面
で活躍。今年9月高専、工業大学を開校

今年の訪問は

■7月18日(金)

成田を発って約5時間のフライトでモンゴル空港に
到着。ジャンチブさんを初め奨学生に盛大な歓迎
で出迎えを受けホテルまで送迎、軽食ですませた。

■7月19日(土)

新モンゴル高校訪問。夏休みではあったが日本留
学希望の学生20人に出迎えられ校内を案内されそ
れぞれのスピーチを聞き訪問団からの励ましの言
葉をかけた。また馬頭琴の演奏も鑑賞した。

学生たちは高い日本語力を持ち、将来の夢、目標
がはっきりしていて素晴らしかった。又当クラブ
へ卓活できた山田様が一年間日本語講師をつとめ
る。(同席)

●高校訪問後教育関係の政府高官と会う予定だっ
たが皆ナーダム(モンゴルの最大の祭典)で地方に
いったので会うことができなかった。

昼食はロータリアンとレストランで食事モンゴ
ルには13クラブ有、ローターアクトクラブも6つ
有活動が活発(モンゴルは香港マカオと同地区)

草原(国立公園)へ行く移動スーパーで買い物野菜
果物は輸入が多い商品質は日本では市場から下
げる様な鮮度。ベニハナ旅館(集合棟ゲル)で食
事。別の旅行者と一緒に食事

■7月20日(日)

散歩、乗馬、弓を射る。昼食はモンゴルのロータ
リアンと食事。

自己紹介バナーの交換(日本に奨学経験者、多くは
日本語できる)

モンゴルのロータリーの事情を聴取、意見交換ダ
ンガン寺拝観。チベット仏教のモンゴルにおける
代表的寺院。日本では東大寺の役割。本堂には観

音様をお奉りし28メートルという巨大な仏像を安
置している。廻りをとりかこんで20体程の仏像も
安置されているマニ車も数十あり手が触れるよう
になっている。院内は数万羽の鳩がおり、境内、
屋根と群がっていた。

隣には修行寺院、仏教大学があり、礼拝堂では5列
～6列のテーブルの中に僧侶が(各列20名高僧から
10歳前後の子坊主迄序列に)並ぶ。信者は僧侶は座
った状態で悩み事を聞いてもらうための活をしお
布施を渡す。

●チベット葬式について

土葬、火葬、風葬を僧侶が決める。墓は南向き49
日までは転生の期間で大事にする。

49日が終わったら3年たってからお墓参りするだ
けで法事等はおこさない。

国立劇場で民族の歴史を描いた舞踏、仮面劇など
を観賞。(ミュージカル)

ジャンチブ理事長宅で大変心の籠った美味しい手
料理をご馳走になった。

ご清聴有難うございました。

■閉会点鐘：赤木会長